

Numazu Fresh News

平成27年度 裾野市総合防災訓練に参加

～リエゾンとして情報収集及び本部会議参加～

発信日:2015/9/1

発信者:沼津河川国道事務所

9月1日(火)、裾野市役所にて大規模地震の発生を想定した、「情報伝達訓練」が開催され、沼津河川国道事務所から職員2名がリエゾン(情報連絡員)として参加しました。訓練は市職員に加え、陸上自衛隊及び裾野警察署も参加し、情報の収集と本部会議における復旧支援についての情報連絡訓練を実施しました。

*リエゾンとは:被災直後から被災地等に情報連絡員として派遣される国土交通省職員のこと。被災状況や被災自治体の支援要請を把握し、災害対策本部に伝達するほか、自治体業務の支援を実施する。

訓練の様子

人的被害、家屋状況、避難所の状況等が情報として寄せられ、市職員が対応策を検討しました。



被災情報の整理



対応策の検討

◎訓練に参加して気づいたこと ～災害時のリエゾン派遣に備えて～

・災害対策本部には様々な情報が集約されます。しかし、情報が溢れ、市職員は対応に追われているため、リエゾンは積極的に情報収集するとともに、国交省として支援できることを災害対策本部に説明することが重要です。

災害対策本部会議の様子



本部長(裾野市長)訓示



陸上自衛隊情報連絡



国交省リエゾン情報連絡

職員は、災害時にリエゾンとして自治体に派遣されることを想定して、日頃から準備しています。

記事の詳細については河川担当副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。